

レガシー登録サービス契約

レガシー登録サービス契約統計 (2007 年 1 月 30 日) :

ARIN は、同組織が 1997 年の発足以前にリソースを取得したインターネット リソース保持者 (レガシー保持者) との契約関係の正常化に努めてきた。2007 年 10 月 31 日、ARIN は ARIN XX Public Policy and Members Meeting (ニューメキシコ州アルバカーキ) にて早期一般ポリシーを提示した後、レガシー登録サービス契約 (Legacy Registration Services Agreement) を発動した。

現行のレガシー登録サービス契約は、ARIN のサービス区域において、ARIN が定める他の登録サービス契約で保証されていないレガシー インターネット ナンバー リソースを保持する団体または個人が対象となっている。レガシー ナンバー リソースとは、1997 年 12 月 22 日の ARIN 発足以前にインターネット レジストリー (InterNIC または同組織の後継団体) が発行した IPv4 アドレスまたは独立システム番号と定義される。

レガシー登録サービス契約に署名したレガシー保持者には、標準登録サービス契約に署名した組織に提供される登録サービスと同等のサービスが保証される。ARIN が未使用アドレス スペースの取り戻しを求めることはない。レガシー保持者がレガシー登録サービス契約への署名を拒否したとしても、ARIN は同保持者のレガシー リソースを取り消すものではない。さらにレガシー登録サービス契約の規定により、契約書に署名した後に取り入れられた ARIN インターネット ナンバー リソース ポリシーによってレガシー登録サービス契約アドレス保持者の契約上の権利が失効することもない。

ARIN との正規契約関係を締結することにより、レガシー スペース保持者は未使用スペースの取り戻しを求めたり WHOIS サービスや IN-ADDR サービスへのアクセス権限を制限しようとする団体活動があった場合、保護を受けることができる。

レガシー リソース保持者の大半は、リソースを移転するため、ARIN に問い合わせてきたときに初めてレガシー登録サービス契約の存在を知る。レガシー登録サービス契約の利点を理解すれば、レガシー保持者はほとんどの場合、快諾する。レガシー登録サービス契約の申し込み内容に間違いがないことを確認し、手続きを円滑に進行させるため、リソース アナリストが担当責任者を務めている。こうしたリソース アナリストの活躍により、レガシー登録サービス契約の申し込みは高い受諾率を見せている。

レガシー登録サービス契約申し込み件数	38
移転プロセスを通じた申し込み件数	25
申し込みの受諾件数	16
申し込み受領件数	19

ARIN XX

2007 年 10 月 17~19 日、ニューメキシコ州アルバカーキ

アルバカーキ (ニューメキシコ州) にて、ARIN XX Public Policy and Members Meeting (ARIN XX 一般ポリシー委員会会議) および NANOG 41 が開催され、初回訪問者ならびに来場者の数は記録的なものとなった。日曜日には、NANOG の後援により、IPv6 の移行を主題とした多数の講習や討論会を開催。



火曜日の夜、ARIN XX 主催の「Open Policy Hour」を皮切りに、2 日間にわたってポリシー討論会を開催した。「IP 市場」、ルーティング スペースに関連する問題と解決策、市販ファイアウォールの IPv6 サポートなどを取りあげたプレゼンテーションは有用な情報源といえる。水曜日に開催された一般ポリシー会議では、NRO ナンバー委員会の候補者が演説を披露。

金曜日の Friday Members Meeting (委員会会議) では ARIN 活動内容の報告のほか、ARIN Advisory Council (AC) and Board of Trustees (ARIN 顧問委員会 (AC)/評議会) の候補者による演説が行われた。詳細: ページ 2 「Election Wrap-up (投票の推移と結果)」

会議の詳細記録とウェブキャスト:

http://www.arin.net/meetings/minutes/ARIN_XX/

ARIN XX 一般ポリシー討論会

アルバカーキ (ニューメキシコ州) で開催された ARIN XX 一般ポリシーセッションでは 13 にのぼるポリシーの一般討論が行われた。ARIN Internet Resource Policy Evaluation Process (ARIN インターネット リソース ポリシー評価プロセス) の規約により、討論会では顧問委員会に向けた提案が行われる。

下の表は各ポリシーの概要とステータスを示したものである。

提案番号	議題	ステータス
2006-7	IPv6 初期割当基準の変更	中止
2007-13	ISP がエンドユーザーに直ちに求める事項の削除	廃案
2007-14	リソース レビュー プロセス	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-15	レガシー リソースの認証	廃案
2007-16	IPv4 の段階的導入	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-17	レガシーの拡張および部分的回収	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-18	残余 IPv4 アドレススペースの割当に関するグローバルポリシー	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-19	RIR の ASN ブロック割当に関する IANA ポリシー	最終段階入り
2007-21	レガシー保持者 (RSA) 向けの IPv6 および効果的な使用	修正後、最終段階入り
2007-22	追加要請期間の延長	最終段階入り
2007-23	RIR への IANA 割当に関する最終ポリシー	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-24	IPv6 指定ガイドライン	顧問委員会が著者と共に取り組む
2007-25	IPv6 ポリシーのクリーンアップ	顧問委員会が著者と共に取り組む

討論会の結果、ARIN 評議委員会は次に挙げる 2 件のポリシー提案を採用した。

2007-19: RIR の ASN ブロック割当に関する IANA ポリシー。これは ICANN 理事会の承認の下に発動されるグローバルポリシーとなる。

2007-25: IPv6 ポリシーのクリーンアップ。このポリシーは遅くとも 2008 年 2 月 15 日までに発動される。

ARIN 評議委員会は、顧問委員会 (AC) に次の 2 議案の差し戻しを求めた。

2007-21: レガシー保持者 (RSA) 向けの IPv6 およ

び効果的な使用 – ポリシー内容の更なる検討

2007-22: 追加要請期間の延長 – 一般ポリシーに関する更なる評価と検討

ポリシーの提案内容は、次のポリシー提案データベースで確認できる。

http://www.arin.net/policy/proposal_archive.html

ARIN 投票結果

ARIN 正規会員は 2007 年 10 月に年次 ARIN 評議委員会/顧問委員会の選挙を実施した。選挙のガイドライン:

<http://www.arin.net/elections/electionguidelines.html>

評議委員会委員選挙で Bill Manning 氏と Paul Vixie 氏が再選。

顧問委員会委員選挙では Paul Andersen 氏、Cathy Aronson 氏、Marla Azinger 氏が再選したほか、DeLong 氏と Scott Leibrand 氏が新しく当選した。

評議委員会委員および顧問委員会委員の就任期間は 2008 年 1 月 1 日から 3 年とする。

ARIN 区域のナンバー リソース オーガニゼーション ナンバー委員会の代表委員として Jason Schiller 氏が当選。ARIN 正規会員、NANOG 41 会議出席者、ARIN XX 会議出席者はすべて有権者として投票する資格を保持する。Jason Schiller 氏の就任期間は 2008 年 1 月 1 日から 3 年とする。

理事会は、各候補者による地域への貢献に向けた熱意にこの場を借りて感謝の意を述べたい。

ARIN の対外活動

第 4 四半期における ARIN キースタッフの対外活動により、インターネット業界での位置付けが拡大されたほか、一般ポリシーと委員会会議の主催、さらにはインターネット管理や業界のイベント参加など、大きな成果がみられた。

組織名	ISPCON	VON	LISA
場所	サンホゼ (カリフォルニア州)	ボストン (マサチューセッツ州)	ダラス (テキサス州)
開催日	2007 年 10 月 16~18 日	10 月 29~11 月 1 日	11 月 11~16 日
スタッフ	Richard Jimmerson, John Curran	John Curran, Richard Jimmerson,	Richard Jimmerson, Mark Kosters

		Einar Bohlin, Jon Worley	
プレゼンテーション	John Curran:IPv4 Depletion and IPv6 Deployment (IPv4 の衰退と IPv6 の展開)	John Curran:IPv6 :It's Time to Make the Move (取り組みの好機到来)	Richard Jimmerson:IPv6:It's Time to Make the Move (取り組みの好機到来)

ARIN スタッフは上記に挙げた講演のほか、多数の会場で ARIN ビジネス会議を開催した（出席したビジネス会議も少なくない）。

ARIN XXI

2008 年 4 月 6~9 日 - コロラド州デンバー

4 月 6~9 日、ARIN XXI Public Policy and Members Meeting (ARIN XXI 一般ポリシー/委員



会会議) がデンバー (コロラド州) で開催される。現在登録受付中。この会議は ARIN コミュニティに参加する絶好の機会といえる。同会議は日曜日の午後に、「ARIN's Legacy Registration Services Agreement (ARIN レガシー登録サービス契約)」というテーマで開催される。主催者: Stephen M. Ryan 氏、ESQ (ARIN 総合委員会)。

この後、インターネット リソース ポリシー プロセス (IRPEP) の概要、さらに Open Policy Hour が続く。日曜日の夜には第 9 回 ARIN 年次フーズボールトーナメントが行われる。2 日間にわたる一般ポリシー会議では、以下に示すポリシー討論のほか、業界で注目されている議題について討論する。来場者は水曜日に Wednesday Members Meeting (委員会会議) で行われる ARIN 活動内容の報告会に出席することができる。

Public Policy and Members Meeting (一般ポリシー/委員会会議) はウェブキャストでも閲覧可能 (ライブ)。また、会場に出席しなくても質問やコメントを送信してオンライン参加することもできる。

会議の詳細 (登録、議題、オンライン参加情報などを含む) :

<http://www.arin.net/ARIN-XXI>.

ARIN XXI におけるポリシー討論 (2008 年 1 月 28 日) :

- **2007-27: Cooperative distribution of the end of the IPv4 free pool**
- **2007-26: Deprecate Lame Server Policy**

- **2007-23: End Policy for IANA IPv4 allocations to RIRs**
- **2007-22: Expand timeframe of Additional Requests**
- **2007-21: IPv6 for legacy holders with RSA and efficient use**
- **2007-17: Legacy Outreach and Partial Reclamation**
- **2007-16: IPv4 Soft Landing**
- **2007-14: Resource Review Process**

ポリシーに関する提案は 2008 年 2 月 7 日まで受け付けている。したがって上記のリストに議題が追加されることもあり得る。決議案の内容は、次のポリシー提案データベースで確認できる。

http://www.arin.net/policy/proposals/proposal_archive.html

ARIN Public Policy Mailing List (PPML - 一般ポリシー メーリングリスト) に加入することでポリシーに関するコミュニティ討論にも参加可能。データベース: <http://lists.arin.net/pipermail/ppml/>

ARIN サービスの改善

ARIN はコミュニティのニーズを重視し、対処に努めている。前四半期では、コミュニティにとって有益となる多数の変革がなされた。

新しいテンプレートのリリース

ARIN は 2007 年 10 月 23 日、コミュニティの要請に応じて IPv4 と IPv6 の再指定および再割当に向け、バージョン 4.2 をリリースした (**templates**)。この新バージョンでは、ユーザーが役割 (乱用、NOC、テクニカル) およびリソース登録レコードの連絡先を複数指定できるようになった。これは古いテンプレートバージョンに搭載されていた機能である。

バージョン 4.1 で排除したフィールドは顧客が必要としていたことが明らかになり、ARIN はテンプレートにこの機能を改めて搭載した。

更新請求書 (2008 年) の変更

ARIN の更新請求書は、2008 年 1 月決めのものをはじめ、支払期限が支払い側組織の記念日となる各月の末日に変更された。この変更の対象には IP アドレスリソース、ASN、登録移転が含まれる。ARIN へのリソース登録を完了した日が支払い側組織の記念日となる。この変更により、記念日となる月のみが請求書の支払期限決定要素となる。したがって顧客側の会計管理が簡略化される。

こうした請求日の変更により、財務サービス部にとってもプロセスが簡略化されるため、請求処理の効率化によって節約した時間をサービスの改善に活用できる。

ARIN が IPv6 で新しいコア サービスを提供

ARIN は 2007 年 12 月 13 日から whois.arin.net 向けに DNS の AAAA レコードを公開し始め、IPv6 トランスポートで DNS、FTP、Web、WHOIS といった 4 種類のサービスを提供することになった。

新規 WHOIS サービスはまだ試験段階にあるためサービス停止のほか、IPv4 のサービスよりも応答時間が遅くなることもあり得る。IPv6 を介したコア サービスは画期的な取り組みであり、質の向上に努めている。近い将来、障害のないレベルに達するであろう。

RSS フィードの改善

ARIN は 1 月 2 日からフィードにメッセージ本文を追加できる RSS フィードを提供し始めた。これは各種メーリングリストに活用できる有用な機能といえる。現在の RSS 購読者はこの新しいフィード機能を利用できるようになる。<http://www.arin.net/rss.html> で購読手続きを済ませれば RSS で投稿を受信できる。

ARIN への提案およびコンサルティングに関する最新情報

ARIN Consultation and Suggestion Process (ACSP) は、コミュニティや会員からの声に耳を傾けて ARIN のサービスと規範の改善に役立てる目的で結成されたものである。このコンサルティングプロセスにより、ARIN 評議会委員会または会長は、理事会や会長が発動したプログラムに関してコミュニティからフィードバックまたは提案を募集する。会員、コミュニティの不特定個人を問わず、誰でも ARIN サービスや規範の変革、追加、一時停止などを提案できる。

2006 年 8 月 1 日に ACSP が採択されてから、これまで 45 件の提案と 3 件のコンサルティングがあった。そのうち、11 件を取り入れて ARIN の変革を図った。その他多数の議題についても継続的に監視しながら、適宜に対処していく。

不完全代表区域ポリシーをネットワーク単位からゾーン単位に変えるように求める提案（提案番号

2007.29）は ARIN コンサルティング プロセスに委託された。この提案に対するコミュニティのフィードバックはあまりなかったものの、実践段階ではサポートが得られると予測される。

ARIN は 1 項目の改善を通じてこの変革を図る。変革の一環として、ARIN はネットワーク ブロックのどの部分が不完全かを見極めるため、WHOIS も修正する。したがってコミュニティは、1 つか複数の代表団 (/24) がゾーンから外されても、これが意図的に行われたもので、ゾーン開拓や決議段階に手違いはないことを確認できる。このプロセスは 2008 年第 2 四半期末までに完了するであろう。

提案やコメントの詳細文：

http://www.arin.net/acsp/acsp_suggestions.html
（このリンクを通じて過去の提案を含むデータベースを利用することもできる）

過去の相談内容：

http://www.arin.net/acsp/acsp_consultations.html

チーム ARIN : アドベンチャーシリーズ

ARIN のヒーロー達が活躍する漫画の次回発行日については ARIN スタッフから情報を入手可能。これまで 3 シリーズを発行しており、ARIN のウェブサイトで見ることが出来る。



<http://www.arin.net/education/comic/index.html>

ARIN の概要

創立：1997 年

URL: www.arin.net

本社：

3635 Concorde Parkway, Suite 200
Chantilly, VA 20151

Tel: +1.703.227.9840

お問合せ：

メンバーサービス： info@arin.net

登録サービス： hostmaster@arin.net

財務サービス： billing@arin.net